

新生JADCA 3カ年計画骨太方針

使命

安全かつ健康的な室内環境の創造

目的

目標

技術の開発と市場の拡大
(技術委員会)

- 定期調査(点検→清掃)の法制化
- 清掃フィールドの拡大

技術の向上と信用力のUP
(業務委員会)

- 会員の技術向上と国等への働きかけ
- エンドユーザーへの普及と知名度アップ

組織の拡充と組織力の発揮
(総務委員会)

- 独自の資格制度創設
- 会員組織の強化と拡充

具体的施策

2008/12月～2010/3月	2010/4月～2011/3月	2011/4月～2012/3月
<p>JADCA スタンドールの確立 (ダクト清掃に関する汚染評価基準を確立し、標準仕様、清掃手順、診断方法等をも一括包含)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○空調システム清浄委員会の新展開 関連他団体との連携 (目標: JADCA スタンドール→国の統一基準) ○汚染診断士の準備 研修テキスト、資格試験内容の検討 ○ターゲットの拡充 ・オフィスビル・病院→住宅、食品工場 等 ・個別空調への対応。ダクトだけではなく、空調機も含めて洗浄化 	<ul style="list-style-type: none"> → 下記 JADCA 技術評価制度のチェックリスト作成 工法のみならず安全面、環境配慮面も含めたチェックポイントの構築 → 住宅換気ダクトの汚染評価 住宅用ダクト清掃分野への環境整備 → 汚染診断士のビルオーナーへのアピール (眠っていた市場への顕在化) 	<ul style="list-style-type: none"> → 診断士資格内容のバージョンアップ
<ul style="list-style-type: none"> ○技術評価制度の創設 各社の工法が JADCA スタンドールの基準を満たすか判定 ・事業登録・・・必要条件 ・JADCA 技術評価・・・十分条件 ○法制化・グローバルスタンダード確立に向けての海外との連携 米国 (NADCA)、中国 (SHADCA) 等との交流 ○研修・講習の拡充 JADCA セミナー (毎年実施) の内容充実、市民大学等への登壇 等 従事者研修テキストの改訂協議 (ビル管理教育センター、全国ビルメンテナンス協会) ○消費者〔住宅居住者〕への啓発活動の強化 協会名変更による当 HP の一新 ○表彰制度「室内空気清浄化大賞」の創設 学会との連携による「IAQ 向上効果が著しい建築物や機器の開発」を表彰 	<ul style="list-style-type: none"> → 技術評価制度の試行 建設技術評価制度 (昭和60年建設省告示第1157号) による認定を受けた 4 工法採用会員での試行 → 官公庁物件の入札条件として国等に働きかけ → テキストの改訂 (予定) 	<p>JADCA 技術評価制度の実施</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○JADCA 認定資格制度 (「空調システム汚染診断士」) の創設 第1回資格認定研修 09/11月 (東京) ○JADCA 会員証 (シール) の発行 JADCA ロゴシールの発行 (名刺に貼付) ○支部活動の強化 地区制→支部制 (支部単位での活動強化) ○次代を担う若手の育成 会員企業の若手社員対象講演会・情報交換会 (年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回認定研修 (東京1回、大阪1回) 	<ul style="list-style-type: none"> 第3回認定研修 (東京2回、大阪2回)
<p>ゴールド会員証カードの発行</p> <p>【発行要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①事業登録 (第3号登録) 番号を有している。 ② JADCA 技術評価認定番号を有している。 ③事業所毎に空調システム診断士を配置している。 ④環境マネジメントシステム (ISO、エコステージ等) に取り組んでいる。 		